

2016TOEFL対策支援講座時間割

		都久志会館				博多高校			
会場	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	
日付	8月6日	8月7日	8月8日	8月9日	8月16日	8月17日	8月18日	8月19日	
午前 (9:30~12:30)	オリエンテーション	Interactive English① スピーキング/リスニングに慣れるために、発話をしなから読解力やスキルの定着をはかる	演習② テキストをもとに、問題を演習を行う。読解や文法の定着をはかるために解説を行う	グローバル研修	Interactive English③ スピーキング/リスニングに慣れるために、発話をしなから読解力やスキルの定着をはかる	演習④ テキストをもとに、問題を演習を行う。読解や文法の定着をはかるために解説を行う	Interactive English④ スピーキング/リスニングに慣れるために、発話をしなから読解力やスキルの定着をはかる	TOEFL模擬試験③ (Listening/Reading)	
休憩									
午後 (13:30~16:00)	学習基礎	演習① テキストをもとに、問題を演習を行う。読解や文法の定着をはかるために解説を行う	Interactive English② スピーキング/リスニングに慣れるために、発話をしなから読解力やスキルの定着をはかる	英語でのアウトプット演習として日本に在籍する外国人学生と一緒にローコンソープを行い、英語の環境に慣れる時間として設定	演習③ テキストをもとに、問題を演習を行う。読解や文法の定着をはかるために解説を行う	TOEFL模擬試験① (Writing)	TOEFL模擬試験② (Speaking)	Interactive English⑤ 解説 模擬試験の解説および講座の振り返りを行う(残りの時間をInteractive Englishとする予定)	

オリエンテーション

グローバル社会で求められる力について
英語習得に必要なこと
TOEFL®のテストについて

Interactive English

- ①発話することを目的とし、プレインストロミングなどの手法を練習し、実践し、よりの活発な発話を促す
- ②ディスカッションやディベートの手法を取り入れながら、Speaking/Writingの回答に必要な読解力を身につける

演習

TOEFL®で問われる4技能：Reading / Listening / Speaking / Writing をバランスよく身につける
①自分の技能の得意な部分や、より勉強し伸ばしていく部分を知る
②伸ばすコツや今後にも繋がる勉強法を学ぶ
③最後にはTOEFL®模擬テストで実力を試す

グローバル研修

英語でのアウトプット演習として、外国人大学生とのワークショップを行います
世界各国・地域から様々な文化的背景を持つ留学生たちとの英語による活動・交流を通じて、
①多様な文化に対する理解を深める
②英語を使ったコミュニケーション力を身につける (4技能をバランス良く運用する)
③プログラムリーダーの目標観・将来観にふれることで自身の進路や目標を考える機会を得る

TOEFL 模擬試験

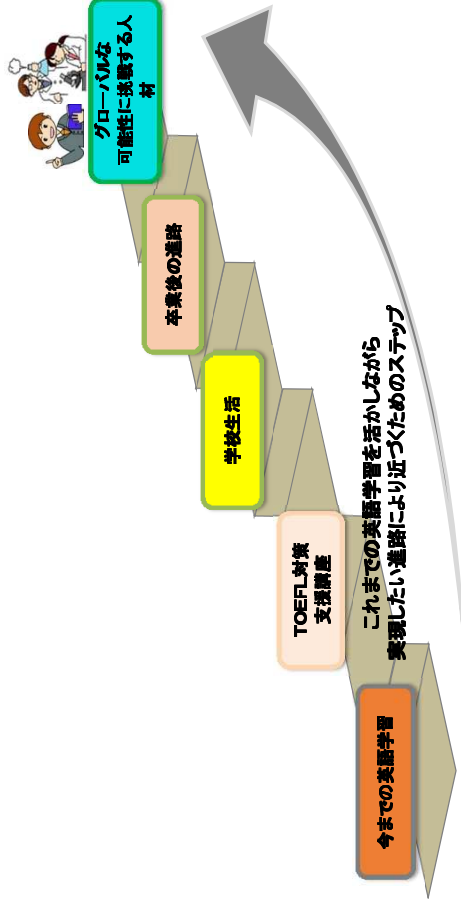
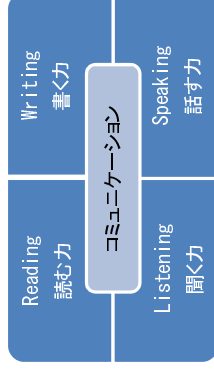
- ①実際の試験形式を体験する
- ②講座で培ってきた練習の成果を試す

具体的な手法

各セクションの回答方式に慣れることを第一目的とし、各セクション分測して実施する
本来ならば「4時間」程度かかるが、今回は時間を短縮して行い、受講者に集中して取り組んでもらう

TOEFL iBT® (インターネット版TOEFL®テスト)

英語をどれだけ「知っている」かではなく、「使える」かに焦点をあて、より実生活に則したコミュニケーション能力を測定するテストです。(TOEFL® テスト日本事務局 Q&Aホームページより)



これまでの英語学習を活かしながら
実現したい進路により近づくためのステップ